

放射線安全フォーラム
第70回放射線防護研究会
「Chernobyl 原子力発電所の状況について」

開催趣旨

今年5月14日のScience誌に、Fission reactions are smoldering again at Chernobyl というタイトルで、1頁の記事が掲載されました。チェルノブイリ原子力発電所4号炉で中性子モニターの計数値が上昇しているというInstitute for Safety Problems of Nuclear Power Plants (ウクライナ, キエフ)のAnatolii Doroshenko氏の4月に開かれた廃炉会議での発言を取り上げ、再臨界の可能性も仄めかされていましたが、この科学雑誌としては珍しいことに、肝心の中性子モニターの測定値について何の情報も示されていませんでした。ロシア科学アカデミーは、即座に再臨界の可能性を否定するプレスリリースを出し、米国原子力学会も、Science誌も報道機関の煽情主義とは無縁でなかった、という辛辣なコメントを、ホームページに掲載(6月11日)しました。記事には福島第一原子力発電所への言及もありましたが、日本原子力学会や日本保健物理学会からは、今のところ反応がないようです。

Science誌の記事が、メディアやSNSを通じて拡散・増幅したことを考慮し、放射線安全フォーラムでは、チェルノブイリ原子力発電所4号炉の現状に関する正確な情報をお伺いする機会を設けることにしました。講演は英語で行われますが、通訳のサービスはありませんのでご承知おき下さい。

記

1. 日時、場所

日 時 : 2021年10月16日(土)14:00~17:00

通常より開催時刻が遅くなりますのでご注意ください。

場 所 : **WEB(オンライン)での開催とします。インターネットへの接続が必要です。**
快適に参加するためにDownloadの速度は20Mbps以上をお勧めします。

2. プログラム

司 会 : 飯本武志 東京大学教授・放射線安全フォーラム理事

講 演 : 1. Imre Pázsit 氏 スウェーデン Chalmers 大学

「The accidents at Chernobyl and Fukushima, and some comments on the possibility of re-criticality」(* 英語発表)

講 演 : 2. Sergii Paskevych 氏 Deputy Director | Doctor of Psychology Institute for Safety Problems of Nuclear Power Plants NAS Ukraine

「Current conditions of the nuclear safety ensuring of the Shelter object」(* 英語発表)

総合討論: ご登壇の先生方を交えて、討論します。

3. 参加費:(放射線安全フォーラム会員は無料)

一 般: **2,000円**

学 生: 無料(HP申込時に学校名、学部・学科、大学院の場合、研究科・専攻、下一桁を除いた学生番号を記入してください)

10月8日(金)までに、以下の口座に振込をお願いします。

振込名義が申込者と異なる場合は、必ず振込依頼人欄に申込者の名前を入力してください。

<振込先口座> 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店

普通預金口座 0054856 特定非営利活動法人放射線安全フォーラム

4. 参加申込み: ホームページよりお申込み下さい。 <https://www.rsf.or.jp>

事前登録制です。定員は100名を予定しております。参加費は事前振り込みをお願いいたします。

参加される方は必ず受付フォームよりフルネームを記入の上、参加申込みをお願いいたします。申込期日後 ZOOM 招待を申請(登録)されたメールアドレスに発信いたします。

受付期間終了後の参加お問い合わせは、事務局までお願いいたします。

5. 申込期日: 2021年10月8日(金)17:00

6. 問 合 せ: mail@rsf.or.jp